
紅色に染まる夏

備前長船長光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅色に染まる夏

【Nコード】

N8008X

【作者名】

備前長船長光

【あらすじ】

かつてこの世には一匹の鬼がいた
鬼は元は人だった
しかしある人を助けるために
悪鬼になった…
鬼は友を殺し
家族を殺し
己の良心を殺し
神を殺し

復讐者をも殺した
そして最後には…

ある年の夏、神那学院に兄妹が転校してきた
転校して来るはずの無い兄妹の転校により
伊東誠悟を中心とする周囲の時が歴史が狂い始める
これは、そんなお話

これは、純粋な恋愛ものではない
純愛を望む者は無用である

この話は歪んだ愛の物語である

プロローグ（前書き）

初めまして備前長船長光です

この作品が初投稿なので拙い文書ですがどうぞお楽しみください
完結させるつもりでいます

中身は恋色空模様で主人公が装甲悪鬼村正の善悪相殺
の誓いを立てたという設定の二次創作になります。

この作品は原作のイメージを崩壊させる可能性が高いので
嫌な人は絶対に観覧しないでください

残酷な描写多々出てくる可能性が高いので

そのような表現の苦手な人もぜった観覧しないで下さい

ブローグ

あかねいろ

茜色に染まる人気のない砂浜に二人の男が立っていた

一人は夏というのにブレザーを着込みその下に帯刀している男

もう一方は白い半袖のYシャツを来ている学生だった

二人は何も言わずに夕日が海に沈む様子を 茜色に染まる空を眺めていた

その間、静かな波の音が二人を包む。

しばらく時間が静かに流れてゆく

突然、ブレザーの男が何かの覚悟を決めたかのように唐突にYシャツの男の方に体を向けた

ブレザーの男「誠悟」

誠悟「え？」

ブレザーの男「すまない……」

誠悟「なんだ、や」

その言葉と同時にブレザーの男が剣を抜刀する

フォン

先ず刀が風を切り裂く鋭い音がする

次に ドサツ と首が落ちる音がする

最後に ドタツ と身体の倒れる音がする

まるで操り人形の糸が切れるように誠悟は倒れた

誠悟の体から 首のあった場所から 鮮血が吹き出す

落ちた首が

光のない瞳が

こちらを見つめる

どうして？と言いたげに…

よく惨劇の現場を血の雨が降ると形容するがまさにその通りである
ブレザーの男は紅色に体を染める

女「兄いー!!」

その声にブレザーの男は振り返る、そして一瞬、驚きの表情を浮かべる。

しかし、それは一瞬だけだった次の瞬間には暗い顔をし、そしてその女の名前を呼ぶ。

ブレザーの男「美琴さんか……」

美琴「よくも兄いを絶対に許さないっやッ」

そいつの名を言おうとすると同時にそいつの目が妖しく光るのを幻視した

直後

美琴（体が、動かないなんでっ、このオンボロがなんで今動かないの？）

ブレザーの男「心ノ一方をかけた……………お前にも謝る……………すまん…な」

美琴（しんのいっぽう?）

そう言くとブレザーの男は刀を肩に担ぐようにしてこちらに向かってくる

ゆっくりと、しかし、確実に歩いてくる、私を殺すために…

悲しそうに血の涙を流して笑いながら

私はその時、思い返していた

あの楽しかった日々を

悲しい事もあった日々を

大変だった日々を…

男がついに私の前まで来る

それはさながら死神のようだった

それは今、正に私の命を刈り取るだろう

そう思ったと同時に、死神は刀を振り下ろす

私は、斬られる刹那の瞬間が一秒にも一分にも感じる最中に思った
その人と居る時お兄いが一番楽しそうにしていた事を

もう一度、見たいと思った優しい笑顔の兄いを

もう一度…来世なんて要らない替わりに、あの日々に戻りたいと願
った

あの皆で頑張った夏に戻りたいと…

それがその少女の人生最後に思っ^{願った}た事だった

男は、美琴のデスマスクを記憶に残しそして十六夜を眺め月明かり
に血刀をかざしながら言葉をつぶやき始める

ブレザーの男「すまん…俺はまだ死ねないんだ………そう………
…まだ」

男はそうつぶやくと血振いし刀を鞘に納める

そして、歩き出す人を殺すために^{あやめる}

その道中楽しかった日々を思い返しながら
戻れるものならば戻りたいと思いつながら…

男は、歩いて行く…修羅という名の道を………

プロローグ（後書き）

次回より主人公設定などを公開します
遅くとも月一で公開しますのでよろしくお願いします

人物紹介（前書き）

備前長船長光です

恋色空模様を恋愛ものとして書かれている人が沢山いるので

私はダークの方向で書こうと思いました

この小説は原作のイメージを壊したく無い方まだ未プレイでこれからプレイする

予定の方は観覧しなてください

それでも見たい方は自己責任でお願いします

主人公の名前や妹の名前あと家族の名前など色々な裏設定が隠されているかもしれませんが最後まで観覧していただける方は楽しみにしててください

それではよろしくお願いします

人物紹介

人物紹介

八雲やくも
八坂やさか

本作の主人公

16歳 高校2年

誕生日
8月8日

身長	178?

68 kg

体格
筋肉質

趣味・特技
睡眠料理（プロ級の腕前）

学業成績 優秀・常に五教科70点を取っている(本当は100点を取れるのだが残り30点分を珍回答に費やしている)

ただし英語は聞き取りとペーパーテストは大丈夫だが発音が苦手のようである

嫌いな物・事 正義 殺人 マヨネーズ（食べると気分が物凄く悪くなるらしい） トマト 女性

好きな事・物
日々の稽古
刀の手入れ
掃除

性格 冷静沈着 ぶっきらぼう 無口 努力家

一人称 私 私 私 俺 自分 わし 小生 等その日の気分によ
わたし あたし わたくし わたし など
 って常に違う メインは私 俺

東京の学校から神那学院に転校してきた

誠悟とは親友だった（本人談）

主人公の家は代々刀鍛冶なので主人公も刀鍛冶であり技術を余す所なく受け継いでいる

同時に家伝の武術も受継いでおりその腕前は相当の物だと言われている。

実は拳銃や小銃なども使えるらしい。

なぜか良く解らないがガラの悪い人や武術家崩れなどに喧嘩を売られる（誠悟曰くその様な人を寄せ付ける念波^{ねんぱ}が出ているらしい）

苦手な相手は銃剣を使う人間

ある事件を境に髪が白髪^{はくはつ}になってしまった

同時にその事件で右目と右肩に武術家生命を失うほどの重傷を負ったゆえに外見的特徴としては右目には刀傷があること（見えないというわけではないのだが

光に弱くなっているため夜にしか目を開られない）

右肩も動かせない訳ではないのだがある一定の角度に達すると激痛が走るらしい

名前の由来は家に代々伝わる刀剣 伝 村正 の銘^なが 八坂^{やさか}だからと言われている。

主人公の愛刀^{あいとう}

略式九八式下士官軍刀 刃長 66・7？ 反り2？ 無銘 祖父の最高傑作にして唯一つの遺品

木目調の仕込み杖 刃長 66・7？ 反り1？ 伝 村正 号 八坂 家伝の名刀

他にも刀があるがあまり使わない

あまり妹にかまわないが大切に思っており妹を命をかけて守るべき存在だと思っている

妹を嫁として貰い受ける条件は自分を倒す事と命をかけて守る事が出来る相手にしようと思っている

あまり弱点の無い完璧超人に見えるが 猫舌や乱視 など細かい

弱点が沢山ある

余談だが本人は無痛症であり痛みを感じないこの事を知っているのは彼の家族だけであり現在は唯一の肉親の妹だけである

やくも あかり
八雲月星

主人公の妹

年齢 15歳 高校1年

誕生日 8月12日

身長 154?

体重 非公開 ただ八坂曰く軽いらしい?

趣味・特技 兄の世話 花嫁修業?

学業成績 八坂ほどではないが60点を切った事が無い

嫌いな物・事 兄以外の男性が苦手(誠悟以外) 姉(故人)

好きな物・事 兄 兄の傍に居る事 兄の手伝い 兄の作る料理

性格 天真爛漫? 真面目?

一人称 私 わたし

兄に付いて東京から神那島まで一緒に来る

兄の事が好きだと公言しているが当の八坂はほとんど無視している模様

兄妹で結婚できるようにするべきだと本気で思っている

同年代の女性に比べると小柄な割に体力と運動神経がいい

兄が片手と片目しか使えないのでその代わりになりたいと思っている
八坂の前では怒らないが八坂が居ない所では気に入らないと怒るらしい

誠悟曰く怒らせると物凄く怖いらしい(トラウマになる人が10人に1いるくらい)

実は本当の兄妹ではない事を知っており隠している(この事を八坂

は知らない)

人物紹介（後書き）

どうだったでしょうか？

と言われても困りますよね

次回からお話に入ります

主人公の家族の名前などはその時になったら

投稿しますのでよろしく願います

できれば感想をお願いします

今後の参考にする予定です

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8008x/>

紅色に染まる夏

2011年11月15日06時42分発行